

地域と学び合う 文学部の可能性

新たな実践的学修プログラムの構築を目指して

文学部・龍谷IP (Inventive program) 事業
地域協働と学科・専攻横断による
新たな実践的学修プログラムの構築
～人文知を活かした新たな社会活動の試み～
プログラム開発ワーキンググループ【オープン企画】

概要

文学部龍谷IP推進委員会では「地域協働と学科・専攻横断による新たな実践的学修プログラムの構築～人文知を活かした新たな社会活動の試み～」として、2019年度から「文学部社会活動実践セミナー（仮）」の開講を目指しています。今回は大宮・深草学舎周辺の地域諸団体にも参画して頂き、幅広い視点から人文知と掛け合わせた地域協働の在り方について考えます。

第1部では地域諸団体から事例共有頂き、文学部との接点を探ります。第2部では、教員・職員・学生、そして第1部で話題提供頂いた地域諸団体の皆さまと共に意見を出し合いながら新たな実践的学修プログラムのシラバスを構想・試作します。教員・職員・学生の多くの参加をお待ちしております。

日時・場所

2018.10.3(水)
15:00～18:00

龍谷大学大宮キャンパス
東覺スチューデントcommons

●第1部、第2部どちらかの参加も可能です。

第1部 事例共有 15:00～16:15

(東覺1階 多目的エリア)

第2部 共創WS 16:30～18:00

(東覺2階 コラボレーションエリア)

予定プログラム

●第1部 事例共有 15:00～16:15

「地域と学び合う文学部の可能性」

産官民の地域諸団体から事例共有をいただき、
文学部との接点を探ります。

話題提供

大宮学舎周辺 (予定)

・下京区役所 ・株式会社Stroly

深草学舎周辺 (予定)

・伏見区役所 ・NPO法人Home's Vi

●第2部 共創WS 16:30～18:00

「地域と学び合う実践的学修プログラムの
シラバス (授業案) を試作・構想する」

文学部教員・職員・学生、そして第1部で話題提供頂いた
地域諸団体の方々をチームを組み、「人文知」を活かした
新たな実践的学修プログラムを構想します。

地域と学び合う文学部の可能性

新たな実践的学修プログラムの構築を目指して

2018.10.3(水)15:00～18:00 龍谷大学大宮キャンパス 東覺スチューデントcommons

文学部龍谷IP推進委員会では「地域協働と学科・専攻横断による新たな実践的学修プログラムの構築～人文知を活かした新たな社会活動の試み～」として、2019年度から「文学部社会活動実践セミナー（仮）」の開講を目指しています。今回は大宮・深草学舎周辺の地域諸団体にも参画して頂き、幅広い視点から人文知と掛け合わせた地域協働の在り方について考えます。

第1部では地域諸団体から事例共有頂き、文学部との接点を探ります。第2部では、教員・職員・学生、そして第1部で話題提供頂いた地域諸団体の皆さまと共に意見を出し合いながら新たな実践的学修プログラムのシラバスを構想・試作します。
教員・職員・学生の多くの参加をお待ちしております。

●第1部 事例共有 15:00～16:15 「地域と学び合う文学部の可能性」（東覺1階 多目的エリア）

産官民の地域諸団体から事例共有をいただき、文学部との接点を探ります。

話題提供① 「京都の玄関口・下京区と掛け合わす文学の可能性」

天岡 昌代（京都市まちづくりアドバイザー 下京区担当）

京都の玄関口である「下京区」は平成31年3月に誕生140周年を迎えます。「自分ごと・みんなごとのまちづくり」を進めるために、区民や事業者などとの連携した様々な取り組みを進めています。来春開業予定の「梅小路京都市」駅を中心とした丹波口エリア、京都市立芸術大学の移転などを機に再開発の進む崇仁地区など、街が大きく変化している真っ只中の下京区と文学部のコラボレーションについて考えます。

話題提供② 「多様な表現に溢れる地図が集まるプラットフォーム」

明主 那生（株式会社Stroly：ストローリー スタッフ）

Stroly（ストローリー）は位置情報と連動したオンラインマップのプラットフォームです。誰でも自由に無料で、アナログ地図（古地図など）からオンラインマップを作成したり、現在地の近くのマップを検索して利用することができます。また、位置情報や行動データ、デジタルアーカイブなどのテーマについて、企業や大学と研究開発を行なっています。Strolyを活用した人文知マッピング、フィールドワークなど「デジタルとアナログ」を掛け合わせた様々なコラボレーションについて考えます。

話題提供③ 「市民の自発的活動を生み出す場：伏見をさかんにざっくばらん（ふしざく）」

亀村 佳都（京都市まちづくりアドバイザー 伏見区担当）

山本 彩代（NPO法人Home's Vi スタッフ）

ふしざくとは、伏見に縁があって、伏見で暮らしたり、通ったりしている人が、伏見をさかんに「ざっくばらん」に語り合い、出会った仲間と伏見のまちでやりたいことを実現する場です。2012年6月にスタートした「ふしざく」では、毎月約50人が参加し、時にワークショップを取り入れながら語り合い・交流・チームづくり・活動をしています。ふしざくを通して様々なプロジェクトが生まれ、期を重ねるごとに地域に活動が広がっています。

文学部生1～2回生が学ぶ深草学舎周辺のまちについて、より深く関わりを持つ機会、地域の方から学ぶ機会としてのコラボレーションや、歴史文化などを始めとした社会活動への参画などについての可能性について考えます。

※講題については、予定であり変更する場合があります。

●休憩 16:15～16:30 休 憩 ※第1部、第2部どちらかの参加も可能です。

●第2部 共創ワークショップ 16:30～18:00（東覺2階 コラボレーションエリア）

「地域と学び合う実践的学修プログラムのシラバス（授業案）を試作・構想する」

文学部教員・職員・学生、そして第1部で話題提供頂いた地域諸団体の方々と一緒にチームを組み、「人文知」を活かした新たな実践的学修プログラムを構想します。